

# 在宅でもできる!

## QOLを高める リハビリテーション看護



—今回は新たに災害時の緊急避難技術も学びます—

### 講師紹介

紙屋 克子 先生

筑波大学名誉教授

北海道大学医学部附属病院、札幌麻生脳神経外科病院で臨床のキャリアを積んだ後、学究活動に身を投じ、筑波大学大学院にて教授を務め、看護・医療科学類にて学類長を務め、名誉教授の称号を受けられました。その後静岡国立大学大学院看護学研究科教授を経て、現在は意識障害看護、ナースングバイオメカニクス、リハビリテーション看護などを中心に研究を生かした現場への応用を推進されています。



### 概要

ナースングバイオメカニクスに基づく『寝たきりにしない・させない生活支援技術』ならびに、最期まで人の欲求として残る『食べる』ための機能を高める口腔ケアまで、在宅でもできるQOLを高めるリハビリテーション看護について、演習を通して理解を深め研修します。

また、近年、注目されている在宅でのケア事故(入浴中の溺死事故は交通事故死を上回る)、火災の発生、浸水など予想外の自然環境の変化から、高齢者や寝たきりの人の安全を護る緊急避難技術についても実習します。

看護の対象者に対して、人間としての尊厳ある生命と生活を保障し、人としての能力を発展させ、より質の高い生活レベルで人生を歩むための効果的な支援方法を確立することは、すべての看護職にとって急務の課題となっています。

### 学習目標

1. 廃用性の障害のために寝たきりで在宅療養生活を送る看護対象者の生活上の障害をアセスメントできる。
2. 生活上の問題を解決しQOLを高めるためのリハビリテーション看護の方法を習得できる。

### 受講対象者として

看護師ほか医療・介護従事者

### 内容

1. スライド資料を用いた実際のケース紹介の後、モデルに直接触れて観察方法・評価と記録について学習する。
2. グループに分かれて課題をすべて体験実習する。
  - ① 臥床生活で療養生活を送る対象者のアセスメント
  - ② お布団で臥床している人の生活支援技術
  - ③ ベッドで臥床生活を送る人の生活支援技術
  - ④ 廃用性障害の生活問題を改善する基本的看護技術
  - ⑤ 災害時の緊急避難技術

合併症予防(褥瘡・肺合併症・尖足など)、関節拘縮、体位変換、筋力低下の予防と改善、枕元への移動、座る、(更衣)、立位(つかまり立ち)、トランスファー、口腔ケア&口腔リハビリ

### 学習時間

はじめに	90分	10:30~12:00
昼休憩		12:00~13:00
演習	1限目 在宅リハビリ看護演習	13:00~14:10
演習	2限目 口腔機能向上ケア	14:10~15:20
演習	3限目 緊急避難技術演習	15:20~16:30

### 日時

2017年 1月29日(日)

10:30~16:30

### 場所

ニプロ株式会社 iMEP (医療研修施設)

(JR南草津駅下車 徒歩3分)

〒525-0055 滋賀県草津市野路町3023番地

電話番号 077-564-0610 FAX番号 077-564-0591

### 参加費

お一人 15,000円 (税込み)

※昼食代込み

### 定員

20名

※定員になり次第締め切らせていただきますので、ご了承ください。

### >> お申し込み方法

受講を希望される方は、[ニプロホームページ](http://med.nipro.co.jp) 医療研修施設 iMEPからお申し込みください。

[http://med.nipro.co.jp/imep\\_society](http://med.nipro.co.jp/imep_society)

※最少催行人数に満たない場合、本研修を中止とさせていただきます。

申し込み締め切り: 2017年 1月17日(火)

